

アセトアミノフェンを含有する医療用医薬品について

アセトアミノフェンは鎮痛作用と解熱作用をもつ薬剤であり、非ステロイド性抗炎症薬 (nonsteroidal anti-inflammatory drugs: NSAIDs) と比較して、腎障害や消化管障害、心血管障害が少ないという特徴があります。錠剤、散剤、液剤、坐剤、注射剤など様々な剤形で販売されており、医療用医薬品のみでなく、一般用医薬品としても小児から高齢者まで幅広く使用されている薬剤です。本邦では2011年にアセトアミノフェンの承認1日最大用量が1500mgから4000mgに改訂され、高用量での使用が可能となりました。一方で、重篤な肝障害の発現には注意が必要な薬剤であり、1日総量1500mgを越す高用量で長期投与する場合には、定期的に肝機能等を確認するなど慎重に投与することとされています。また、アセトアミノフェンを含む他の薬剤との併用により過量投与になるおそれがあることから、併用薬にも注意が必要です。主成分がアセトアミノフェンのみである薬剤のほか、複数の成分のひとつとしてアセトアミノフェンを含有しているものもあります。今回は、配合剤としてアセトアミノフェンを含む医療用医薬品についてまとめました。アセトアミノフェンの投与量を確認する際の参考にいただければ幸いです。

剤形	商品名	薬効分類	アセトアミノフェン含有量
錠剤	トラムセット [®] 配合錠	慢性疼痛/抜歯後疼痛治療剤	325mg/錠
	トアラセット [®] 配合錠		
	カフコデ [®] N配合錠	鎮咳・鎮痛・解熱剤	100mg/錠
	ピーエイ配合錠	感冒剤	75mg/錠
顆粒剤	SG配合顆粒	解熱鎮痛剤	250mg/g
	PL配合顆粒	感冒剤	150mg/g
	サラザック [®] 配合顆粒		
	セラピナ配合顆粒		
	トーフチーム配合顆粒		
	ペレックス [®] 配合顆粒		
	マリキナ [®] 配合顆粒	感冒剤	25mg/g
	幼児用PL配合顆粒		
小児用ペレックス [®] 配合顆粒			

参考文献：宮原強ら，がん疼痛に対する高用量アセトアミノフェンの有効性と肝障害への影響，医療薬学，42(9)，2016
各社添付文書

(鹿児島市医師会病院薬剤部 高橋 武士)